

National Institute of Technology (KOSEN), Toyota College

Mechanical Engineering
Electrical & Electronic Engineering
Information & Computer Engineering
Civil Engineering
Architecture



国立豊田工業高等専門学校 入学案内



2024

中学生の皆さんへ

皆さんは、スマートフォンを手にアプリを使う中で、その移動通信システムとしてのありがたさやインターネットにつながったときの便利さ、さらにGPSの有用さというものを実感していると思います。このほかにもやがて、リニア中央新幹線は都市間のものごとの移動を格段に高速化し、自動運転は地方の過疎化・高齢化問題を解消してくれるであろうことを知っているでしょう。

これらの革新技术は、そのときどきの夢を実現したり社会の問題を解消したりしようとする人類の叡智と努力の集積により成し遂げられてきています。彼らは、人まねでは達し得ないとして、創造力豊かに自ら信ずる道を突き進んで独自技術を築きあげたパイオニアであり、社会のヒーロー、ヒロインです。そして、彼らのようになるには、皆さんのように若い頃から強い好奇心に基づき自分で論理を組み立て、結果が見えなくても勇気をもって挑戦する経験を数多く積むことが重要です。

本校は、大学と同じ高等教育機関に分類され、中学校を卒業した皆さんに対して5年間の技術者教育を行う学校です。数学や物理、化学は、やがて科学技術で利用されることを前提としたカリキュラムの中で位置づけられています。その他、地域コミュニティの問題解決を手掛ける体験実習があります。豊田高専独自の英文多読教育によって英語力も強化できます。これら専門性の高い充実したカリキュラムが用意されている他、学生が海外の外国人学生とペアになって参加する国際交流ビデオコンテストや、ロボットコンテスト等の課外活動に積極的に参加したりすることを奨励しています。そして、寮生活では寮生総会を学生が主体的に開催しています。以上のように、自主性が高く国際感覚を身に付け、難易度の高い新技術の習得に粘り強く挑むことができる学生を育てるため、教職員一同全力でサポートしています。

冒頭述べた技術の便利さ有用さを認識する一方で、急激かつ偏った文明の発展の代償として世界的な大規模災害や、社会の中での老若を問わない人々の孤立等、よりグローバル化、複雑化した問題が発生しています。将来、環境問題に挑んで地球を救い、社会問題に取り組んで困っている人を助けたいという皆さん、私たち教職員は、そしてすでにオンリーワンの技術者を目指して日々勉学と技術習得に励んでいる先輩たちは、君たちが豊田高専の門戸を叩いてくれることを今から願い、楽しみに待っています。

校長 山田 陽滋



目 次

中学生の皆さんへ	0 1	共同利用施設	1 2
創造的エンジニアへのユニークな道	0 2	学生寮	1 3
豊田高専の特色	0 3	クラブ・同好会活動	1 4
卒業生からのメッセージ	0 4	学費・奨学金	1 5
一般教育	0 5	年間行事	1 6
機械工学科	0 6	進学	1 7
電気・電子システム工学科	0 7	就職	1 8
情報工学科	0 8	中学生からの質問と回答	1 9, 2 0
環境都市工学科	0 9	豊田高専のデータ	2 1
建築学科	1 0	入学試験の要点	2 2
専攻科	1 1		

創造的エンジニアへのユニークな道

高等専門学校(以下「高専」)は、社会が必要とする技術者を養成するために1962年(昭和37年)に設立されました。高専は、中学校の卒業生を受け入れて、1学科40名による5年間の一貫教育を行う高等教育機関です。

現在、我が国には51の国立高専と7の公立及び私立高専があります。(下の図の○印)

高専では、幅広く豊かな人間教育を目指し、数学・英語・国語などの一般科目と専門科目をバランス良く教育しています。

実験・実習を重視した専門教育を行い、大学とほぼ同程度の専門的な知識や技術が身につけられるように工夫されています。特に卒業研究では、エンジニアとして自立できるよう応用能力を養うことを目的としており、学会で発表できるような水準の高い研究も生まれています。

高専を卒業した者は「準学士」と称することができます。



大学・大学院へのユニークな道

高専では、5年間の一貫教育で大学とほぼ同程度の専門的な知識や技術を身につけられますが、さらに高度で幅広い専門的技術や知識を学びたい学生は、右の図のように、大学や専攻科、大学院へ進学ができます。

「高専 ▶ 大学 ▶ 大学院」

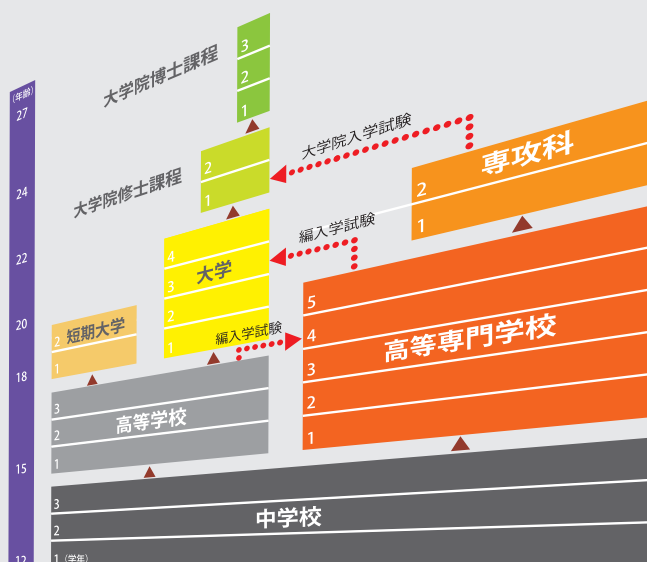
または

「高専 ▶ 専攻科 ▶ 大学院」

の各ルートは、

「高校 ▶ 大学 ▶ 大学院」ルートに並列するユニークな学校制度を実現しています。

(豊田高専からの進学状況については17ページを参照してください。)



豊田高専の特色

- | | |
|---|-----------|
| (1) 基礎学力の養成を重視した教育システム | (5～10ページ) |
| (2) バランスのとれた一般教育 | (5ページ) |
| (3) 実験・実習を取り入れた専門教育 | (6～10ページ) |
| (4) 本科卒業生のための専攻科 | (11ページ) |
| (5) 利用率の高い図書館やICTセキュリティ教育センター | (12ページ) |
| (6) 研究施設などが充実 | (12ページ) |
| (7) 教育の一環として学生寮が完備 | (13ページ) |
| (8) 学業と並列してクラブ活動も活発 | (14ページ) |
| (9) 学費が大学と比べて半分程度 | (15ページ) |
| (10) 授業料免除制度や奨学金制度が充実 | (15ページ) |
| (11) 卒業生の約半数が国立大学や専攻科に進学 | (17ページ) |
| (12) 求人倍率は就職希望者の20倍以上 | (18ページ) |
| (13) 専門性の高い教員によるきめ細やかな指導 | |
| (14) 海外留学，ロボットコンテスト，デザインコンペティション，プログラミングコンテスト，英語プレゼンテーションコンテストなどに学生が積極的 | |

過去3年間の入試倍率

	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	志願者数	入学者数	倍率	志願者数	入学者数	倍率	志願者数	入学者数	倍率
機械工学科	79(11)	44(9)	2.0	81(11)	41(6)	2.0	88(9)	42(5)	2.2
電気・電子システム工学科	95(13)	41(4)	2.4	99(14)	41(6)	2.5	84(14)	41(8)	2.1
情報工学科	156(22)	43(9)	3.9	133(26)	42(9)	3.3	123(30)	41(13)	3.1
環境都市工学科	66(22)	43(16)	1.7	81(28)	43(18)	2.0	47(19)	40(14)	1.2
建築学科	86(39)	42(18)	2.2	87(37)	42(21)	2.2	80(39)	42(22)	2.0
合計	482(107)	213(56)	2.4	481(116)	209(60)	2.4	422(111)	206(62)	2.1

() は内数で女子

卒業生からのメッセージ

■西木 峻 機械工学科 令和3年度卒 トヨタ自動車(株)モビリティツーリング部 勤務

私はみなさんと同じ中学生の頃、新型のクルマに惹かれて「自動車関係の仕事がしたい！モノづくりがしたい！」と思うようになりました。母の職場の方の紹介がきっかけで高専という存在を知った私はすぐに、技術者として専門的な知識が得られ、モノづくりができる豊田高専 機械工学科を志望しました。

高専の機械工学科の魅力としてはやはり「レベルの高い専門教育を機械分野のみならず情報工学から制御工学、電気工学まで幅広く学べること」「設計製図・実習や実験などで実際に手を動かしながら様々なことを経験できること」ではないかと思います。この知識・経験は現在の業務を行う上でもいろいろな所に大いに役に立っています。

また、学生寮での共同生活も大きな財産になります。最大4年離れた先輩や友達と共に過ごし、自分たちで身の回りのことを行う必要があるため、楽しい生活を送りながらもコミュニケーション力や人間力を養うことができた今になって感じています。

私は卒業後、就職するという選択肢を取りました。入社前は高専卒という肩書きで不安になることもありましたが、実際に入ってみると即戦力として通用する専門的な知識・経験が身につけていることに気づき、高専の教育に驚きました。

私は現在、自動車のボディー部品の型設計を行っています。自分が中学生の頃に目指した職に付き、自分が行う設計を通じて世界中の人々に幸せを提供する仕事をしております。

工学に興味があり、自分のやりたいことがある方々には高専がとてもおすすめです。ぜひ入学を目指してみてください！



■磯部朱梨 電気・電子システム工学科 令和3年度卒 ブラザー工業(株) 勤務

豊田高専での5年間は山あり谷ありでしたが、とても充実した時間でした。高専の5年間で、留学を通して海外への興味を持ったり、沢山の専門知識を得たりして、とても成長することができました。海外では困難なこともありましたが、個性豊かで素晴らしい友人達に助けられ、乗り越えることができました。

現在、私は高専生活で身につけたことを活かしながら、海外工場と連携を取り、新機種の立ち上げ業務や工場能率の改善、業務の自動化などに携わっています。1年目からの海外出張に物怖じせず挑戦できているのは、高専時代に沢山の行事に挑戦する機会があったからです。

豊田高専での学生生活・寮生活・私生活は、自分の行動次第で限りなく幅を広げられると思います。皆さんも豊田高専へ入学後、やりたいことを見つけ、様々なことに挑戦して未来の選択肢を広げていってください。私自身これからも挑戦を続けていきたいと思っています。



■早川尚輝 情報工学科 令和3年度卒 (株)NTTデータ 第一金融事業本部 勤務

豊田高専の魅力は、専門分野の授業や実習、部活動や寮生活を通して、他では味わうことのできない経験ができることにあると思います。学習面では早い時期からまとまった期間で、基礎から応用、最新動向に至るまで体系的に学ぶことができます。そのため、しっかりと活躍できる知識・技術を教わるということが高専の良さだと思います。

また、生活面では寮生活、部活動、学園祭など、先輩や後輩と多く関わる機会があり、どれも学生が主体的に活動を行っています。学生時代に多くの人と関わりを持ち、多くの貴重な経験ができたことは、自分にとって大きな財産となっています。

私は現在、国内最大手のSI企業（システム・インテグレーター）に就職し、大手クレジットカード会社のインフラ整備に携わっています。この業務では、専門知識を問われる場面が多くありますし、それだけではなくチームメンバーとのコミュニケーション力も求められます。その際に、情報工学科で学んだ知識・経験が自信へとつながり、円滑にコミュニケーションができていますと感じます。

今の私があるのは豊田高専で学ぶことができたからであり、私は今心から豊田高専に入学してよかったと言えます。情報分野に少しでも興味のある方はぜひ、豊田高専情報工学科への入学を目指してみてください。



■大石 萌 環境都市工学科 令和3年度卒 国土交通省 中部地方整備局 浜松河川国道事務所 勤務

私は中学生の時に訪れたオープンキャンパスで見学した測量やブロックの橋を見て土木に興味を持ったことと、豊田高専は学生寮が充実していることや国際交流に力を注いでおり、留学制度が整っている学校だったので入学を希望しました。

私は現在、国土交通省中部地方整備局に入局し、様々な河川事業の計画を立てています。また、台風や大雨の際には洪水警報の発令業務を行っています。

豊田高専で過ごした5年間では、専門知識や技術力の習得以外にも、寮生活や部活、課外活動を通して様々な人々と関わる機会があり、どれもかけがえのない時間でした。

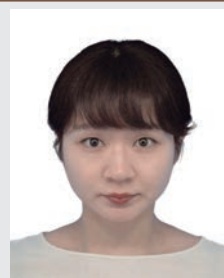
普通高校では体験できないことが高専では沢山あると思うので、ぜひ高専に入学して立派な技術者を目指してください！



■小出果歩 建築学科 令和2年度卒 株式会社浦野設計 勤務

高専の魅力は、高校1年生の年齢から専門科目を学べることだと思います。私は「建築で社会貢献がしたい！」という夢を抱き、入学しました。高専では5年間、座学から実験、製図や模型製作など、多様な授業を通して、着実に、夢を叶えるための知識を積み上げることができました。今では建築設計事務所に就職し、主に公共施設の設計を行っています。分け隔てなく全ての人に行き渡る公共施設の設計は、やりたかったことそのものです。夢は少し叶ったかなと実感していますが、建築技術、知識をつけることに終わりではなく、技術者となる以上は学び続けることになります。そんな技術者人生にとてもワクワクしています。なぜなら、「好きなこと、やりたいこと＝仕事」だからです。

高専で早くから専門科目を学び、着実に知識を積み上げて、好きなことを仕事にする、そんな未来を描いてみませんか。高専の専門分野のなかに、興味を持った方は是非、入学してほしいと思います。きっと、好きなことに時間を使える人生の入口になるはずです。楽しい技術者人生のスタートをきってみてください！



一般教育では、文系・理系を問わずいろいろな科目を学びます。広い視野に立って、考察し判断できる技術者になっていただくためです。

特に数学では、基礎から技術者に必要とされる高度なものまで、幅広く学びます。

英語では、一般英語のほかに科学英語や外国人による英会話を学んだり、プレゼンテーション指導も行います。

理科は専門科目を学ぶうえで不可欠な科目で、講義だけでなく物理実験や化学実験を通して、さらに理解を深めていきます。

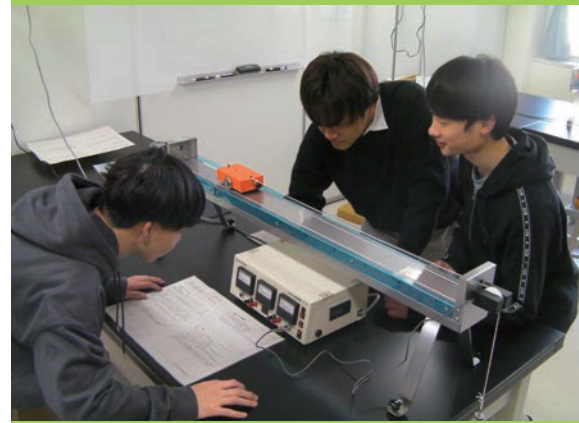
その他にも、国語や社会、保健体育等、楽しく、教養を深める授業があります。第3学年修了時には、高校卒業程度と認定されます。

また、指導教員(担任)の指導体制のもと、学習、部活動、学校行事、寮生活に至るまで、細かい指導が受けられます。

“学ぶときは学び、遊ぶときは遊ぶ”そんな青春時代の1ページを飾ることができるでしょう。



▲英語の多読授業



▲物理実験の様子



▲天下に名高い「高専の数学」

一般教育

General Education

一般教育の授業予定科目

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年
国語Ⅰ	国語Ⅱ	国語Ⅲ	日本語表現	保健体育Ⅴ
現代社会	歴史Ⅰ	歴史Ⅱ	保健体育Ⅳ	英語Ⅱ
地理	基礎解析Ⅱ	倫理	英語Ⅰ	ドイツ語
基礎解析Ⅰ	線形数学Ⅱ	基礎解析Ⅲ,Ⅳ	科学英語基礎Ⅱ	英語Ⅲ
線形数学Ⅰ	物理Ⅱ	微分方程式	数学特論	文学特論
総合理科	物理実験	確率	物理特論	人文科学特論Ⅰ
物理Ⅰ	化学Ⅱ	化学Ⅲ	化学特論	社会科学特論Ⅰ
化学Ⅰ	保健体育Ⅱ	保健体育Ⅲ	哲学Ⅰ	人文科学特論Ⅱ
保健体育Ⅰ	英語講読Ⅱ	英語講読Ⅲ	現代社会学Ⅰ	社会科学特論Ⅱ
英語講読Ⅰ	英語表現	科学英語基礎Ⅰ	法学Ⅰ	
英語会話			経済学Ⅰ	
英語文法・作文			哲学Ⅱ	
			現代社会学Ⅱ	
			法学Ⅱ	
			経済学Ⅱ	

身近にあるいろいろなモノを作るために、どのような知識が必要か考えてみましょう。まず戸外から。はじめに電車、バス、航空機などの乗り物。どれもまず構造を考え、材料を加工して形にして、強度を保って機械として機能させるなら、機構、材料、加工法、また材料に働く力のことを知らなければなりません。動力のエンジン、高速で移動する物体が空気から受ける力についても勉強が必要です。つぎに動くものではないけれども、テレビ塔のような構造物、また地中には生活に不可欠な水やガスが流れる水道管、ガス管が埋まっています。ここにも材料や材料強度の知識、また管内の水やガスの流れについて知らなければなりません。家の中を見回せば、冬は温風、夏は冷風が出てくるエアコン、高速で回転している洗濯機のドラムが目にとまります。このような機械を考えるためには熱や、振動・回転する物体に関する知識が必要です。

機械工学科の専門授業科目を見てください。上で述べたことから実験・実習をしながら学べることがわかるでしょう。卒業後は、すぐに就職してもよいし、あるいはもっと深く勉強したくなれば進学もよいでしょう。機械工学科には君のやりたいことがきっとあるはずです。最後に、機械工学科には、毎年複数の女子学生が入学しています。これまで女子学生の就職や進学で困ったことはありません。将来の女性エンジニアを目指して、ぜひ機械工学にチャレンジしてください。

機械工学科

Mechanical Engineering



▲ロボコン2019東海・北陸地区大会



▲機械設計製図の授業



▲創造総合実習

機械工学科の専門授業予定科目

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年
情報基礎	材料学Ⅰ	応用物理学	解析学	材料力学Ⅲ
機械工作法Ⅰ	情報工学Ⅰ	物理Ⅲ	材料力学Ⅱ	熱力学Ⅱ
工学基礎演習	基礎製図	材料学Ⅱ	情報工学Ⅲ	水力学Ⅱ
基礎実習	工業力学Ⅰ	機械運動学	熱力学Ⅰ	機械工作法Ⅲ
	機械工作法Ⅱ	工業力学Ⅱ	水力学Ⅰ	制御工学
	メカトロニクス実習	機械要素設計	機械力学	電気電子回路
		機械設計製図	機械システム設計	メカトロニクス特論
		情報工学Ⅱ	基礎電気磁気学	卒業研究
		材料力学Ⅰ	工学実験	
		創造総合実習	統計学	
			校外実習	

電気自動車，太陽光発電，家庭用・産業用ロボット，液晶ディスプレイ，地デジ・BS放送・携帯通信網と，電気・電子システムはハードウェアからソフトウェアまで，電気に携わる物を対象にしています。

これからの社会を支える中核技術を学ぶためには，理論と実践の融合が大切と考え，電気・電子システム工学科では1年次から5年次まで一貫して，実験・実習・研究による豊かなものづくり体験と電気回路・電磁気学での根本から考える理論学習を並行して行っています。講義等で学んだ理論を実験・実習（例えば1年次はモータ製作，2年次はマイコンを用いた回路製作とプログラミング実習，3年次はマイコンライントレースマシン製作，4年次はロボットサッカー大会）を通じて，ものづくりの面白さを体験するとともに，社会に出て即戦力になる実践的教育を行っています。また，英文多読授業（電気英語）により，国際的に活躍できる英語の得意な学生も増えています。

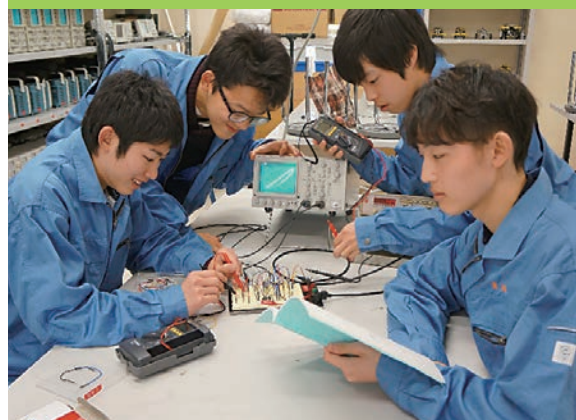
その成果は，ロボカップ世界大会での活躍，ロボコン全国大会での受賞（ロボコン大賞，技術賞，デザイン賞獲得），本校専攻科や有名国立大学への進学実績や，エレクトロニクス，情報通信，エネルギーを中心に幅広い分野の有力企業への就職実績に表れています。女子学生の進路も堅調で，例えば近年に卒業した女子学生の進路先は，P&G，三菱ビルテクノサービス，NTTファシリティーズ，キャノンメディカルシステムズ，ブラザー工業，スズキ，浜松ホトニクスなどです。

電気・ 電子システム工学科

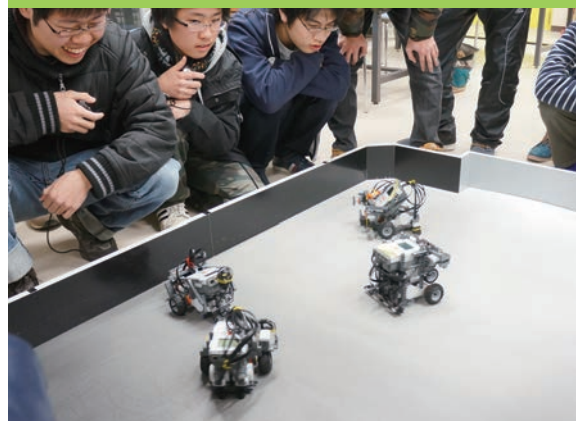
Electrical & Electronic Engineering



▲ロボカップ世界大会連続出場中



▲2年次の電気基礎実験



▲4年次の校内ロボットサッカー大会

電気・電子システム工学科の専門授業予定科目

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年
電気基礎演習	電気数学	応用物理学	解析学	電気電子工学演習Ⅱ
基礎電気工学	電気回路	物理Ⅲ	交流回路	エネルギー変換工学Ⅱ
情報基礎	マイクロコンピュータ工学	電気数理演習	回路理論	半導体工学
創造電気実験実習	電気英語基礎Ⅰ	基礎交流回路	電子回路	デジタル回路
	電気基礎実験	基礎電気磁気学	電気計測	信号処理
		プログラミング基礎	電気磁気学	統計学
		電気電子工学実験Ⅰ	プログラミング技法	電力工学
		電気英語基礎Ⅱ	電気電子工学実験Ⅱ	システム制御工学
			電気電子工学演習Ⅰ	パワーエレクトロニクス
			エネルギー変換工学Ⅰ	電気技術英語Ⅱ
			電子工学	卒業研究
			電気電子工学ゼミ	
			電気技術英語Ⅰ	
			校外実習	

「情報工学」というのは、「情報」を工学的に利用するために必要な理論と技術について考える学問です。そして、その学問を学ぶために欠かせない存在が「コンピュータ」です。

情報工学科では、コンピュータの「しくみ」からその「応用」にいたるまで、周辺知識も含めた幅広い学習内容を、体系化されたカリキュラムにより効果的に習得することができます。情報工学科のカリキュラムは、「数理基礎」・「ハードウェア」・「ソフトウェア」といった各分野の基礎知識をバランスよく習得できるように設計されており、IoT（Internet of Things：身の周りのあらゆるモノがインターネットにつながる仕組み）や人工知能、セキュリティといった最新の技術にも対応できるようにしています。

コンピュータの技術というと華やかなイメージがあるかもしれませんが、情報工学科では、流行を追いつめるのではなく、基礎的な勉強をとても大切にしています。いかにコンピュータや情報通信技術の進歩が速くとも、その基礎となる理論や技術は不変です。そういった基礎知識の土台の上にこそ、新しい技術を吸収し、活用していく実践力が育まれるのです。

卒業生は、就職では情報サービス、情報通信、輸送用機器および電気機器製造など幅広い産業界で活躍しています。進学では、本校専攻科及び地元だけでなく全国の国公立大学に編入学しています。

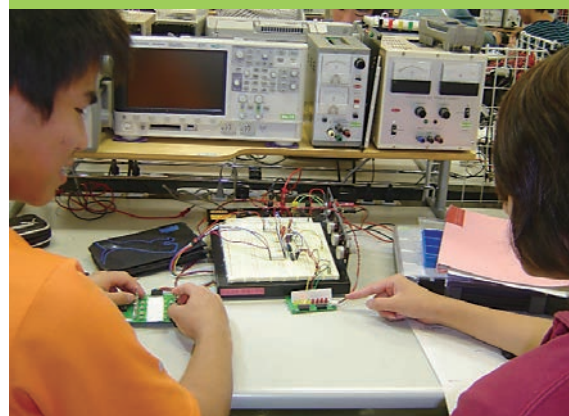
みなさんの夢の実現に向け、情報工学科で学んでみませんか。

情報工学科

Information & Computer Engineering



▲1年次の情報工学ゼミ I



▲2年次のIC回路の実験



▲無線LANとノートPCを利用したソフトウェア演習

情報工学科の専門授業予定科目

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年
コンピュータリテラシ	プログラミングⅡ	応用物理学	解析学	統計学
プログラミングⅠ	デジタル回路Ⅰ	物理Ⅲ	オブジェクト指向プログラミング	プログラミング言語論
情報技術概論	回路理論Ⅰ	アルゴリズムとデータ構造	システムプログラム	コンピュータシステム設計
情報基礎	数理工学演習Ⅱ	デジタル回路Ⅱ	ソフトウェア設計	電磁波工学
数理工学演習Ⅰ	工学実験Ⅰ	コンピュータ工学	コンピュータアーキテクチャⅠ	制御工学
情報工学ゼミⅠ		回路理論Ⅱ	コンピュータアーキテクチャⅡ	形式言語論
		過度現象論	電気磁気学	離散数学
		数理工学演習Ⅲ	信号解析	数値解析
		工学実験Ⅱ	情報ネットワーク	情報理論
		エンジニアリングデザインⅠ	通信工学	情報工学ゼミⅢ
			数理工学演習Ⅳ	卒業研究
			サイバーセキュリティ	
			知能メディア処理	
			情報工学ゼミⅡ	
			エンジニアリングデザインⅡ	
			校外実習	

環境都市工学科では、私たちの生活環境をとりまく、なくてはならない市民生活に必要な工学を学びます。災害時によく言われる道路、水道、ガス、電気などのライフラインの確保、これらは、まさに環境都市工学の分野が担当しています。日常生活を豊かにする道路、鉄道（在来線、新幹線）、バス、電気、水道・下水道、河川、ダム、港、空港などそれらすべてが環境都市工学に関係しています。人々の暮らしを豊かにし、住みやすい環境を整え、自然にも人にも優しくする、言わば「世のため人のため工学」が環境都市工学科で学ぶ内容なのです。

環境都市工学科の授業科目は、大きく分けて、基礎科目、共通専門科目、都市建設系科目、環境系科目、総合科目の5つに分類されています。基礎科目では専門科目を学ぶ上で必要な理数系の応用数学やコンピュータなどを、共通専門科目では応用的な専門科目を学習する上で基礎となる測量学、構造力学、水理学、土質力学、材料学などを学びます。都市建設系科目では、建設技術に関する建設施工や都市計画などを、環境系科目としては、環境問題や環境保全技術などを学びます。

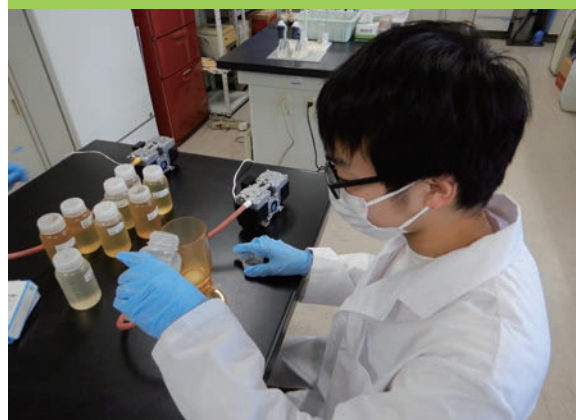
卒業後の進路は、就職では難関の国家公務員や地方自治体の技術系公務員、建設会社、設計会社、社会基盤を支える鉄道会社、電力会社やガス会社など活躍の舞台は広がっています。進学では、本校専攻科、国立大学の建設系・環境系の学科への編入学に40%程度の卒業生が進んでいます。

環境都市工学科

Civil Engineering



▲橋梁の設計計算



▲森で採取した水の成分を分析



▲河川での環境調査

環境都市工学科の専門授業予定科目

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年
情報基礎	設計製図基礎	応用物理学	解析学	設計製図
環境工学基礎	測量学Ⅱ	物理Ⅲ	プロジェクトデザインⅡ	交通計画
防災リテラシー	測量実習Ⅱ	水理学Ⅰ	建設設計論	河川工学
環境都市工学基礎演習	都市づくり入門	構造力学Ⅱ	都市計画	鋼構造
測量学Ⅰ	建設材料学Ⅱ	土質力学Ⅰ	環境衛生工学	コンクリート構造学Ⅲ
測量実習Ⅰ	地球環境科学	環境都市工学実験Ⅰ	水理学Ⅱ	リモートセンシング
建設材料学Ⅰ	構造力学Ⅰ	コンクリート構造学Ⅱ	構造力学Ⅲ	建設施工
	コンクリート構造学Ⅰ	水環境工学	土質力学Ⅱ	卒業研究
		プロジェクトデザインⅠ	環境都市工学実験Ⅱ	
			統計学	
			情報処理論	
			土木計画学	
			環境都市応用工学	
			校外実習	

建築は、「工学」と「芸術」を融合した学問です。また、生活の器であり、身近に先人の知恵と技術が活用されています。

本校は、実践的技術者養成のために開学されています。そこで、建築学科カリキュラムでは、学生が設計競技などに参加し、実務に向けての基礎知識を養うことができるように設計製図・実験など実践的な科目が他高専建築学科より多く設けられています。この特徴的なカリキュラムと学生らの努力で、昨今、多くの学生が、全国レベルの設計競技や全国高専デザインコンペティション(通称デザコン)で入賞を果たしています。

授業科目は、上述のように1年次からデザインや設計製図があり、さらに数学などの一般科目の履修状況に対応して、2～3年次から建築計画、構造力学、環境工学などの科目が始まり、5年間で創造力ある建築技術者を育成します。

建築学科を卒業すると、一級建築士の受験資格が与えられます。これは大学卒業よりも2年早く受験資格を得ることになります。

卒業生の50～70%程度が就職し、住宅会社で戸建て住宅の設計や施工管理、大手建設会社で大規模建物の施工管理、住宅機器メーカーで商品開発などに従事しています。30～50%程度の卒業生は、国公立大学の建築学科や本校専攻科へ進学しています。

建築学科

Architecture



▲デザコンの作品展示と審査員講評



▲こよう祭(文化祭)の展示



▲4年次の建築材料実験(RC梁の曲げ試験)

建築学科の専門授業予定科目

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年
情報基礎	製図演習	応用物理学	解析学	建築設備Ⅱ
建築構法・木質構造	建築構造力学Ⅰ	物理Ⅲ	建築設計製図Ⅳ	建築防災工学
建築設計製図Ⅰ	建築設計製図Ⅱ	技術表現法	建築計画Ⅲ	基礎構造
建築C A DⅠ	空間デザイン	建築構造力学Ⅱ	建築環境工学Ⅲ	建築生産
	建築C A DⅡ	建築設計製図Ⅲ	建築構造力学Ⅲ	建築法規
		建築計画Ⅰ	鉄筋コンクリート構造	建築振動学
		建築環境工学Ⅰ	建築学ゼミナール	構造設計
		建築材料	統計学	卒業研究
		建築環境工学Ⅱ	西洋建築史	
		建築計画Ⅱ	都市計画	
		日本建築史	建築設備Ⅰ	
			鉄骨構造	
			建築環境実験	
			建築構造実験	
			建築材料実験	
			校外実習	



▲電子機械工学特別実験



▲建設工学創造実験



▲情報科学実験

専攻科

豊田高专では、卒業後にさらに高度で幅広い知識や技術を学ぶために専攻科があります。

専攻科には、電子機械工学専攻、建設工学専攻、情報科学専攻があり、毎年20～30名の学生が入学し、2年後に学士(工学)の学位を取得して卒業(修了)していきます。

■電子機械工学専攻

電気・電子技術と機械技術を融合した複合技術（メカトロニクス）について学びます。

■建設工学専攻

人と自然にやさしい都市作りの技術と安全で快適な生活空間を作り出す技術について学びます。

■情報科学専攻

これまでに培われた「豊かな体験」と「基礎理論の深い理解」を融合させ、社会の多様なニーズに応えるコンピュータシステムを設計・開発するためのデザイン能力を磨きます。

学位「学士(工学)」の取得

専攻科で所定の単位を修得し、かつ、大学改革支援・学位授与機構が行う審査を経て、4年制大学卒業と同じ「学士(工学)」の学位が授与されます。

共同利用施設

■図書館

図書館には、約15万冊の蔵書と雑誌やCDなどがあり、快適で落ち着いた雰囲気の中で読書や勉強ができます。

開館時間は、平日が午前8時45分から午後7時、土曜日は午前10時から午後5時までとなっております。

■食堂と福利厚生会館

食堂と福利厚生会館は、学生寮と校舎を結ぶ位置にあります。

食堂1階は寮生食堂で、2階は通学生や教職員のための一般食堂となっています。

隣接する福利厚生会館の1階には学生課、保健室、学生相談室があり、2階には売店、学生談話室などがあります。

■ICTセキュリティ教育センター

ICTセキュリティ教育センターには、クラス単位でPC実習ができる演習室が2部屋あり、全学科で利用することができます。そこでは、コンピュータリテラシー、情報モラル、情報セキュリティ、プログラミング技術、コンピュータ応用技術といった様々な情報関連技術を、実技を通して実践的に学ぶことができます。

■地域共同テクノセンター

地域共同テクノセンターは、本校の産学連携・地域活性化推進活動の拠点として、自治体や地域のものづくり企業と連携して、ものづくり人材の育成、技術相談、共同研究などの活動を行っています。当センターに設置してある研究・実験設備には、走査型電子顕微鏡、EDS組成分析装置、3Dプリンタ、レーザ加工機などがあります。

■材料・構造物疲労試験センター

材料・構造物疲労試験センターには、写真の水平2方向振動台装置をはじめ、実際の木造耐震壁を水平加力できる装置、極低温や高温環境下での繰り返し加力装置などがあり、専攻科生の実験や卒業研究などに利用されています。





▲寮指導学生



▲朝体操



▲寮祭ステージ



▲学生寮の食堂



▲寮行事のメインイベント：寮祭



▲食堂メニュー（特別食）

学生寮

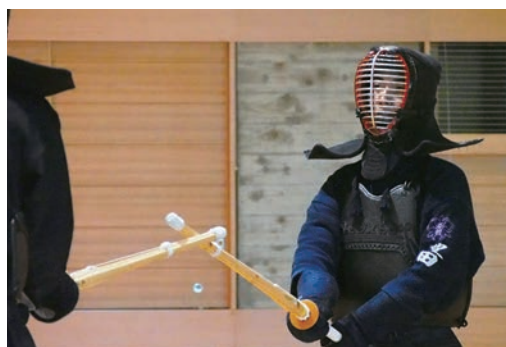
人との関わりを学ぶ寮生活

豊田高専では、教育施設の一つとして学生寮があります。

人との関わりの中で人は成長します。寮生活は、同輩・先輩・教職員との関わりの中で、自らの欠点を改め、長所をさらに伸ばせる場所となっています。

このような寮生活を経験した卒業生は、思いやりと協調性を持ったすばらしい社会人として活躍しています。

建て替えが順次行われており、予定どおりに進めば令和8年度には約600名が居住する学寮となります。令和5年4月現在は約410名が寮生として生活しています。



クラブ・同好会活動

豊田高専では、学生が豊かで有意義な体験ができるよう体育部系と文化部系のクラブ活動を支援しており、多くの学生がスポーツや文化活動に励んでいます。

体育部系には19団体のクラブ、文化部系には12団体のクラブと4団体の同好会があり学生相互の研さんの場となっています。

体育部系のクラブ活動の発表の場として、6月下旬から7月上旬にかけて東海地区の5高専によって行われる東海地区高専体育大会(16競技種目)が、また、8月下旬には全国高専体育大会(14競技種目)が開催されます。昨年度(令和4年度)、豊田高専は、東海地区高専体育大会において団体競技6種目で優勝しました。

文化部系

(令和5年4月現在)

吹奏楽部、写真部、自動車部、インターアクトクラブ、軽音楽部、コンピュータ部、囲碁・将棋部、茶道部、演劇部、美術部、スペース・デザイン研究部、ジャグリング部、鉄道航空研究同好会、機巧同好会、天文同好会、アートクリエイイト同好会

体育部系

(令和5年4月現在)

陸上競技部、水泳部、硬式野球部、ソフトテニス部、テニス部、卓球部、サッカー部、バスケットボール部、女子バスケットボール部、バレーボール部、女子バレーボール部、ハンドボール部、柔道部、剣道部、弓道部、山岳部、空手道部、バドミントン部、ラグビーフットボール部

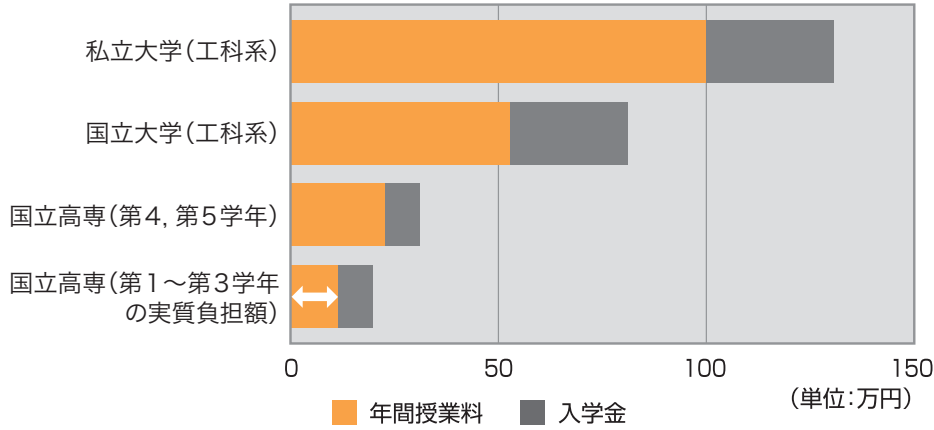
学費・奨学金

国立大学と比べて安い学費

豊田高専と工科系大学との年間の学費を比較すると、豊田高専の第4,第5学年は国立大学の1/2程度、私立大学の1/5程度の安い学費で勉強できます。

また、1年生から3年生(入学時より通算36月)は高等学校等就学支援金制度により、保護者の所得が一定の基準額未満の場合は、就学支援金が支給されます。就学支援金は直接授業料に充当されており、授業料の負担額は、世帯所得により234,600円から0円となります。

学生寮での生活費は寄宿料が月額700円、寮費が食事代を含めて月額約35,000円となっています(令和5年度)。



	年間授業料(万円)	入学金(万円)
私立大学(工科系)	100 程度	30 程度
国立大学(工科系)	54 程度	28 程度
国立高専(第4,第5学年)	23.46	8.46
国立高専(第1~第3学年の実質負担額)	23.46~0	8.46

高等教育の修学支援新制度（授業料等減免＋給付型奨学金）

経済状況及び学力（成績・学習意欲等）の条件を満たす第4学年以上の学生は、高等教育の修学支援新制度により、世帯収入に応じた3段階の基準で、授業料等減免と給付型奨学金の受給を併せた支援が受けられます。

奨学金制度

学業・人物ともに優秀、かつ、健康であり、経済的理由により著しく修学が困難である学生に対して、選考の上、独立行政法人日本学生支援機構より下表の額の奨学金（無利子）が貸与されます。

奨学金貸与額（月額）（令和5年度）

	1, 2, 3年生	4,5年生, 専攻科生
自宅通学	¥21,000	¥45,000
自宅外通学	¥22,500	¥51,000
自宅・自宅外共通	¥10,000	¥20,000



▲4月 入学式



▲10月 プログラミングコンテスト



▲10月 ロボットコンテスト



▲11月 デザインコンペティション



▲11月 こうよう祭 (文化祭)



▲1月 学内対抗駅伝



▲1月 英語プレゼンテーションコンテスト



▲3月 スキー教育合宿 (2学年)

年間行事

こうよう祭(文化祭), 体育祭, 学内対抗駅伝などの多くの行事は学生会が企画・運営し, 非常に盛り上がっています。

学校行事としては, 志賀高原でのスキー教育合宿(2学年), 研修旅行などがあります。

行事に参加することで友だちが増え, きっと学生生活の思い出の数ページを飾ることでしょう。

年間行事予定 (令和5年度)

前学期	4月	入学式
	5月	寮祭
	6月	前学期中間試験 キャリア教育支援プログラム (第1学年研修) 安全を誓う日
	7月	高専体育大会 (東海地区大会)
	8月	前学期定期試験 体験入学 高専体育大会(全国大会) 4学年インターンシップ 海外留学(夏組)出発
後学期	9月	夏休み
	10月	オープンキャンパス プロコン 体育祭 全国高専ロボコン(地区大会)
	11月	こうよう祭(文化祭) 英語プレコン(地区大会) ロボコン(全国大会) デザコン
	12月	後学期中間試験
	1月	学内対抗駅伝 英語プレコン(全国大会)
	2月	後学期定期試験 海外留学(冬組)出発
	3月	スキー教育合宿(2学年) 研修旅行 卒業式

過去5年間の大学・専攻科合格者数

	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	過去5年間
豊橋技術科学大学	3 2	3 5	3 7	3 7	3 6	1 7 7
名古屋大学	7	7	6	7	7	3 4
名古屋工業大学	4	1 3	6	7	6	3 6
岐阜大学	7	5	2	6	8	2 8
三重大学	6	9	4	4	1 2	3 5
東京大学	1	2	0	2	1	6
京都大学	1	0	1	1	1	4
大阪大学	1	0	1	7	5	1 4
東北大学	2	0	2	4	3	1 1
九州大学	0	2	0	3	3	8
北海道大学	0	1	1	2	2	6
筑波大学	2	0	3	5	4	1 4
千葉大学	2	0	0	1	3	6
信州大学	0	1	2	4	1	8
東京農工大学	0	2	3	6	8	1 9
横浜国立大学	3	2	2	4	2	1 3
長岡技術科学大学	1	1	1	1	4	8
京都工芸繊維大学	1	1	1	1	2	6
その他の国立大学 計	1 5	1 3	9	1 9	2 4	8 0
東京都立大学	1	0	6	1	1	9
その他の公立大学 計	1	3	2	5	2	1 3
豊田工業大学	1 1	1 0	7	1 4	9	5 1
豊田高専専攻科	2 6	2 6	2 8	3 6	2 8	1 4 4
その他の大学等 計	0	0	1	1	8	1 0
計	1 2 4	1 3 3	1 2 5	1 7 8	1 8 0	7 4 0

その他の国公立大学

東京工業大学、東京海洋大学、室蘭工業大学、岩手大学、秋田大学、茨城大学、宇都宮大学、群馬大学、埼玉大学、新潟大学、富山大学、福井大学、山梨大学、神戸大学、奈良女子大学、和歌山大学、島根大学、岡山大学、広島大学、高知大学、愛媛大学、香川大学、徳島大学、九州工業大学、熊本大学、宮崎大学、琉球大学、電気通信大学、愛知教育大学、札幌市立大学、岩手県立大学、愛知県立大学、大阪府立大学、滋賀県立大学、山口東京理科大学

進学

卒業生の約半数が国立大学や専攻科に進学

豊田高専では近年、国立の大学（3年次編入学）や高専の専攻科に卒業生の約半数が進学しています。

豊橋と長岡の技術科学大学は、主として高専卒業生のために設立された国立大学です。

また、ほとんどの国立大学や公立大学でも、高専や短大の卒業生に対する3年次への編入学制度を設けています。

ほとんどの大学編入学試験や専攻科入学試験は異なった日時に行われます。



!! 高専の進学希望者は多くの大学を受験する事ができます。

専攻科に進学し、所定の手続きを経て専攻科を修了すると、大学卒業と同じ学士の学位が授与されます。

過去5年間の主な就職先

機械工学科

東京電力ホールディングス、富士フイルム、カルビー、小松製作所、森永乳業、新明工業、NOK、オークマ、王子製紙、カゴメ、小島プレス工業、JR東海、CKD、中部電力、東レ、トヨタ自動車、豊田中央研究所、日本車輛製造、日東電工、日本特殊陶業、パナソニックエコシステムズ、スバル、プライムアースEVエナジー、本田技研工業、三菱電機エンジニアリング、三菱重工業、村田機械、ニコン、セイコーエプソン、麒麟ビール、浜松ホトニクス、豊田合成、ブラザー工業 など

電気・電子システム工学科

中部電力パワーグリッド、東邦ガス、デンソー、トヨタ自動車、スズキ、JR東海、日本特殊陶業、日本車輛製造、三菱ケミカル、きんでん、FUJI、三菱ビルソリューションズ、NTTファシリティーズ、三菱電機エンジニアリング、オークマ、富士電機、ヤマザキマザック、浜松ホトニクス、キヤノンメディカルシステムズ、明電舎、ブラザー工業、村田機械、大阪ガス、JAXA（宇宙航空研究開発機構）、日揮ホールディングス、シマノ、ジェイベック、LIXIL、NECフィールディング など

情報工学科

トヨタ自動車、デンソー、三菱重工業、ボッシュ、キヤノン、ブラザー工業、パナソニック、NTTデータ、NTTコミュニケーションズ、スズキ、JR東海、FIXER、デンソークリエイト、東邦ガス情報システム、アイシン精機、アイシンソフトウェア、トヨタテクニカルディベロップメント、トヨタシステムズ、ソニーGM&O、中部テレコミュニケーションズ、ヤフー、サントリースピリッツ、サントリープロダクツ、ビーネックスソリューションズ、LIXIL など

環境都市工学科

国土交通省、防衛省、愛知県庁、北海道庁、名古屋市役所、豊田市役所、岡崎市役所、一宮市役所、刈谷市役所、春日井市役所、西尾市役所、小牧市役所、瀬戸市役所、水資源機構、JR東海、JR西日本、中部電力、関西電力、電源開発、NEXCO中日本、名古屋高速道路公社、東邦ガス、東京ガス、大阪ガス、NTTインフラネット、NTTフィールドテクノ、清水建設、五洋建設、ショーボンド建設、NIPPO、オリエンタルコンサルタンツ、中日本建設コンサルタント など

建築学科

大成建設、大林組、鹿島クレス、竹中工務店、清水建設、中部電力、電源開発、東邦ガス、大阪ガス、東海旅客鉄道、中日本高速道路、戸田建設、徳倉建設、矢作建設工業、ダイダン、大気社、ジェイアール東海建設、LIXIL、浦野設計、中日設計、住友不動産、太陽工業、中部国際空港施設サービス、松本市役所、小牧市役所 など

卒業生の将来

昭和43年3月第1回卒業生を社会に送り出して以来、卒業生はそれぞれの分野で産業界の期待にこたえ、活躍しています。

創立以来一環して産業界からの求人要求は安定しており、一例として昨年度の求人倍率をあげれば学校全体で21倍に達しています。

これは高専の少人数教育、特に実験・実習に重点を置く実践的な教育が産業界に認められ、卒業生の実社会における活躍の実績が高く評価されているからです。

令和5年3月卒業生の求人・就職・進学状況

	卒 業 者	就 職 希 望 者 A	就 職 者 B	就 職 率 B/A × 100	求 人 数	進 学 者	自 営 ・ そ の 他
機 械 工 学 科	55(4)	31(2)	31(2)	100.0	653	24(2)	0(0)
電 気・電 子 シ ス テ ム 工 学 科	43(7)	10(3)	10(3)	100.0	622	32(4)	1(0)
情 報 工 学 科	43(3)	25(3)	25(3)	100.0	521	17(0)	1(0)
環 境 都 市 工 学 科	53(14)	31(10)	31(10)	100.0	454	22(4)	0(0)
建 築 学 科	46(15)	27(11)	26(11)	96.3	376	18(3)	2(1)
計	240(43)	124(29)	123(29)	99.2	2,626	113(13)	4(1)

() は内数で女子

中学生からの質問と回答

Q1 豊田高専は高校ですか？

A 高専つまり高等専門学校は、大学と同じ高等教育機関であり、高校ではありません。英語で表現すると“National Institute of Technology (KOSEN), Toyota College”です。したがって、年齢は高校生と同じでも高専生は「学生」と呼ばれます。

Q2 高専は専門学校ですか？

A 特定の範囲の技術だけを学ぶ専門学校（「専門課程」を置く専修学校）ではありません。大学と同じ高等教育機関で、1年次から専門学科に配属されますが、5年間をかけて幅広い教養科目と体系的にまとめられた専門科目を学びます。

Q3 3年修了時には高校卒業と同等の資格が認められますか？

A 所定の単位数を満たしていれば、3学年修了時に高校卒業と同等の資格が認められます。したがって、3年修了時点で進路変更する場合には、その年度での大学受験も可能です。

Q4 高専を卒業した後で大学に進学できますか？

A ほとんどの国公立大学の3年次に編入学ができます。大学により編入学試験の期日が異なるため複数の大学を受験することができます。豊橋市と長岡市にある技術科学大学は、主として高専卒業生のために設立された国立大学です。

Q5 専攻科について説明してください。

A 高専を卒業後さらに2年間高専でより高度な勉強をするのが専攻科です。豊田高専には、電子機械工学専攻、建設工学専攻、情報科学専攻の三つの専攻があります。修了時には、大学改革支援・学位授与機構の審査を経て、大学卒と同じ「学士(工学)」の学位を取得することができます。

Q6 卒業時の就職状況はどうなっていますか？

A 豊田高専は、創立以来一環して産業界からの求人は安定しており、求人倍率も20倍以上に達しています。これは、高専の少人数教育、特に実験・実習に重点を置く実践的な教育が産業界に認められ、また、卒業生の実社会における活躍が高く評価されているからです。

Q7 就職後の待遇は、高専卒と大学卒ではどうでしょうか？

A 高専卒業生の企業等での評判は良く、国立大学工学部の卒業生と同程度として扱われることもあります。あとは実力次第です。特に国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験)の受験資格があり、合格して採用されれば大学卒と同じ待遇です。

Q8 クラブ活動は盛んですか？

A 高専には3年時の大学受験がないことと、学生寮があるためにクラブ活動は盛んです。特に体育部系は多くのクラブが東海地区高専体育大会で優勝して、全国高専体育大会まで出場しています。また、文化部系も定期演奏会やこよう祭(文化祭)などを目指して熱心に活動しています。

Q9 学費や学生寮の経費はどのくらいですか？

A 令和5年度の入学生の場合、入学金は84,600円、授業料は半期117,300円です。また、学生寮での寄宿料は月額700円、寮費は食事代などを含んで月額約35,000円(令和5年度)です。

Questions From & Answers To Junior High School Students

Q10 学生寮のことを教えてください！

- A 豊田高専では、教育施設の一つとして学生寮（7棟）があります。入寮している学生は楽しく寮生活を送っています。建て替えが順次行われており、令和5年4月現在は約410名が寮生として生活しています。
- 入寮希望者が多数いるため、毎年入寮選考を行っています。

Q11 女子学生はどのくらい在学していますか？

- A 豊田高専は、女子学生の入学も歓迎しています。令和5年度では、機械工学科に28名、電気・電子システム工学科に34名、情報工学科に47名、環境都市工学科に72名、建築学科に107名、専攻科に3名、合計291名の女子学生が在学しています。

Q12 入学後の転科は認められていますか？

- A 1学年と2学年の年度末に限り、次年度に転科できる機会が認められています。ただし、受け入れ学科のクラスに余裕があり、成績優秀な学生でなくてはなりません。

Q13 在学中に海外留学はできますか？

- A できます。YFU、AFSの派遣団体による交換留学制度により、毎年40名程度の成績優秀な学生が2～3年生の時に、アメリカ合衆国、オーストラリア、ドイツなどへ1年間留学しています。昨年度は48名が留学しました。

Q14 外国からの留学生はどのくらい在学していますか？

- A 豊田高専は国際交流にも力を注いでおり、留学生を積極的に受け入れています。令和5年度は、マレーシア4名、カンボジア3名、モンゴル2名、インドネシア1名の留学生が在学しています。

Q15 豊田高専の入試倍率について教えてください。

- A 豊田高専には五つの学科があり、入学定員はそれぞれ40名の計200名です。この冊子の3ページに過去3年間の入試倍率を学科ごとに表にまとめています。

Q16 豊田高専の入試制度について教えてください。

- A 各学科とも定員（40名）の30%程度を推薦により選抜し、残りの70%程度を学力（マークシート方式）によって選抜します。学力選抜では、理科・英語・数学・国語・社会（5教科）の学力の成績と調査書から総合的に合格者を決定します。しかし、学力検査の成績が各学科の上位4名以内の受験生は、調査書の内容を不問にして合格としています。

Q17 高校から高専への編入学とはどのようなものですか？

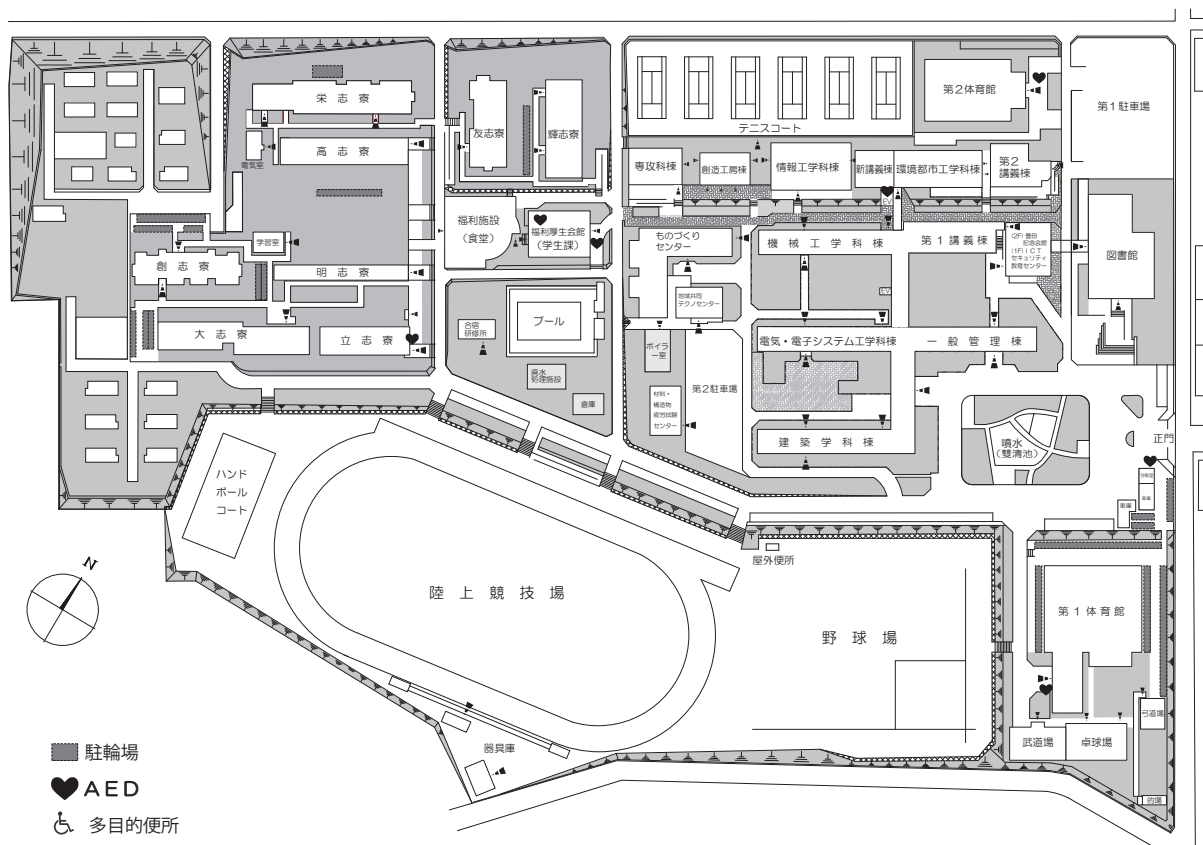
- A 豊田高専では、工業高校や普通高校の卒業生による4年次への編入学制度があります。昨年度に行われた編入学試験では、2名が受験しました。

Q18 高専を試しに受験しても良いですか？

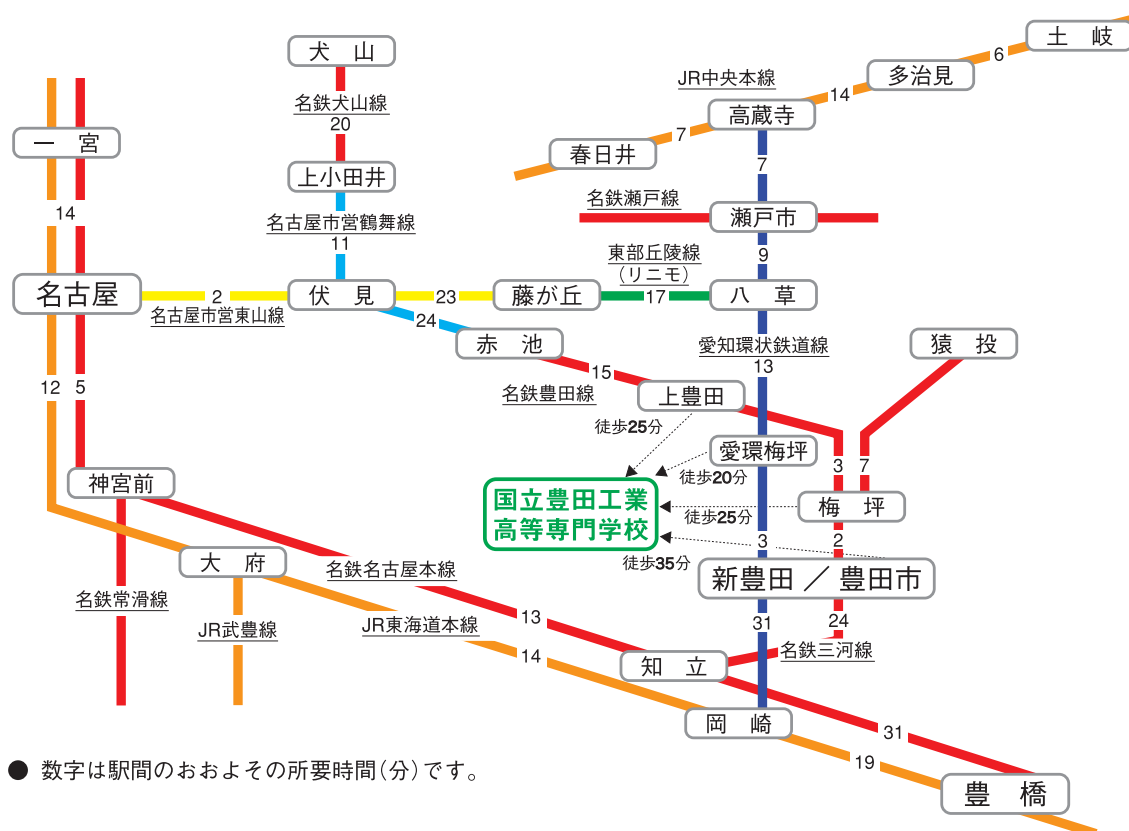
- A 学力検査による選抜についてはご自由に受験してください。ただし、合格した場合「入学確約書」を指定の期日までに豊田高専へ届くように提出しないと入学はできません。

豊田高専のデータ (令和5年4月1日現在)

学校名称	豊田工業高等専門学校 (豊田高専)
学校所在地	〒471-8525 豊田市栄生町2丁目1番地
敷地面積	122,860㎡
建物延べ面積	40,746㎡
本科入学定員	200名
☐ 機械工学科	40名
☐ 電気・電子システム工学科	40名
☐ 情報工学科	40名
☐ 環境都市工学科	40名
☐ 建築学科	40名
専攻科入学定員	20名
☐ 電子機械工学専攻	8名
☐ 建設工学専攻	8名
☐ 情報科学専攻	4名
学生数	1,145名 (男子854名, 女子291名)
☐ 本科学生数	1,098名 (男子810名, 女子288名)
☐ 専攻科学生数	47名 (男子44名, 女子3名)
教員数	71名, 嘱託教授4名, 特命教授2名, 特命准教授2名 (博士号取得者数64名)
事務系及び技術系職員数	常勤42名, 非常勤等30名



豊田高専への交通案内



入学試験の要点

入学者の選抜は「推薦による選抜」と「学力検査による選抜」の二つの方法で行います。

ただし、「推薦による選抜」に不合格となった場合でも「学力検査による選抜」を受験できます。この場合、志望学科を変更しなければ、検定料の再納入及び出願書類の再提出は必要ありません。

◆募集人員

機械工学科，電気・電子システム工学科，情報工学科，環境都市工学科，建築学科の5学科，各40名

◆推薦による選抜

中学校長の推薦書，調査書，面接により総合的に判定します。

インターネット出願受付 令和5年12月1日(金)～21日(木)

郵送書類受付 令和5年12月18日(月)～21日(木)

面接試験 令和6年1月13日(土) 豊田高専にて

合格内定者発表 令和6年1月19日(金) 豊田高専にて

合格者発表 令和6年2月16日(金) 郵送のみ

◆学力検査による選抜

学力検査，調査書により総合的に判定します。

インターネット出願受付 令和5年12月1日(金)～令和6年1月26日(金)

郵送書類受付 令和6年1月23日(火)～26日(金)

学力検査 令和6年2月11日(日)

教科 理科・英語・数学・国語・社会

合格者発表 令和6年2月16日(金) 豊田高専にて

◆検定料

16,500円

◆資料の請求方法

「学生募集要項」の郵送を希望する場合は，下記問合せ先にお尋ねください。

◆問合せ先

国立豊田工業高等専門学校学生課 教務係

〒471-8525 豊田市栄生町2丁目1番地

TEL：0565-36-5912 FAX：0565-36-5922 E-mail：nyuushi@toyota-ct.ac.jp

www.toyota-ct.ac.jp

〒471-8525 豊田市栄生町2丁目1番地
Tel:0565-36-5912 (学生課教務係)
Fax:0565-36-5922 (学生課教務係)
E-mail : nyuushi@toyota-ct.ac.jp